

# 令和6～15年度 尾張旭市食品ロス削減推進計画

## 【概要版】

STOP 食品ロス！みんなで育てよう実践力！

### 1 策定の趣旨

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず廃棄されている食品であり、生産・製造・流通・消費の各段階で発生しています。

食品ロスの削減は、SDGsのターゲットの一つとなっており、令和12(2030)年までに世界全体の1人当たりの食品廃棄物を半減させることが求められています。

国や愛知県でも、食品ロス削減に向けた法令が整備される中で、消費者である国民、事業者、関係団体、行政等が、連携しつつ、それぞれの立場で食品ロスの削減を進めることが必要とされています。

本市においても、食品ロス削減推進計画を策定することにより、食品ロスの削減に向けた取組を加速化し、持続可能な社会の実現を目指すものとします。

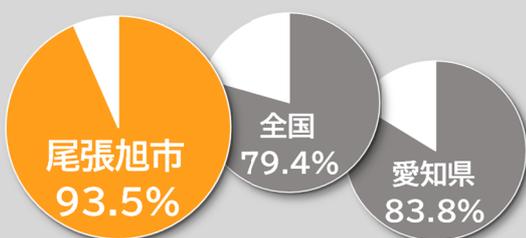
### 2 食品ロスの現状

本市の燃えるごみに占める生ごみの割合は34.9%で、そのうちの7.6%(34g/人・日)が食品ロスと推計されました。

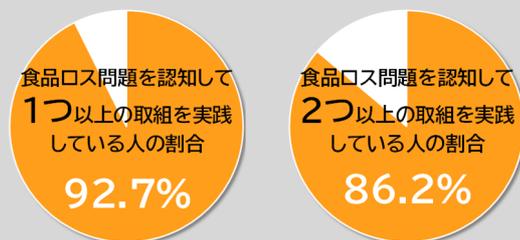


令和4年度に実施した市民アンケートでは、本市の食品ロス問題の認知度は国や愛知県の結果よりも高く、市民の関心が高いことがうかがえました。

■食品ロス問題を知っている人の割合



■食品ロス問題を認知して、取組を実践している人の割合



# 3 食品ロス削減推進計画

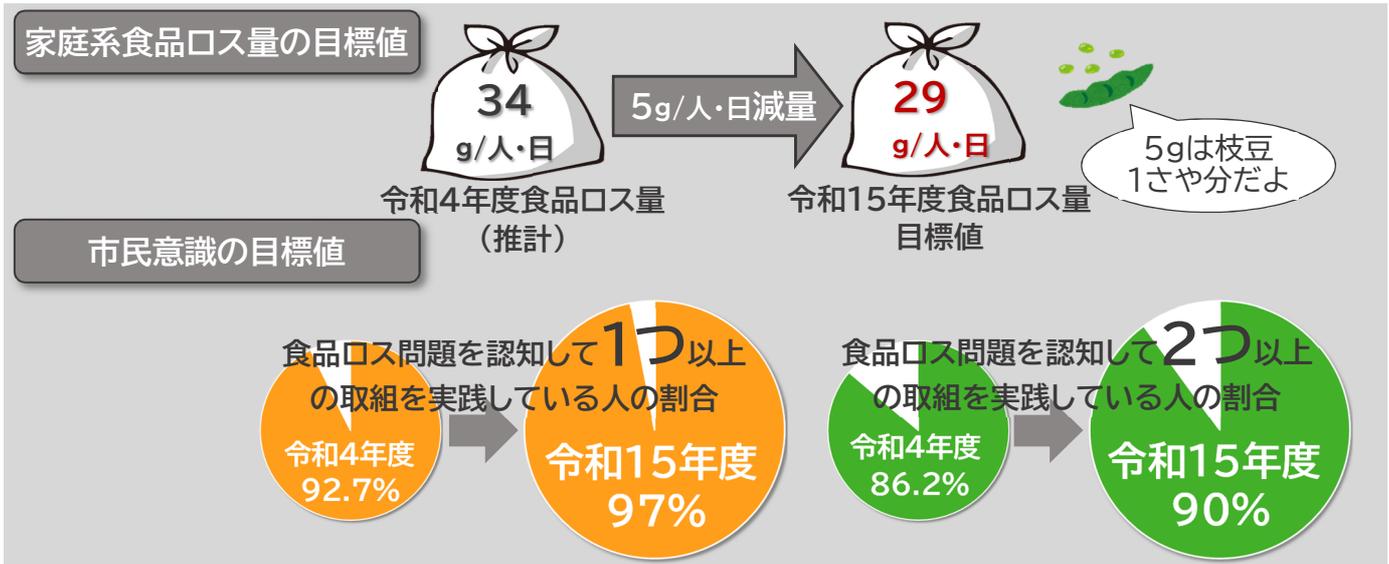
食品ロスについてこれまで以上に意識しながら、みんなで食品ロス削減の取組を実践するという意味を込めて、スローガンを以下のように定めます。

**STOP 食品ロス！**  
**みんなで育てよう実践力！**



食品ロス削減推進計画の計画期間は、一般廃棄物(ごみ)処理基本計画と合わせて令和6年度から令和15年度までとし、同様の考え方で基準年度は令和4(2022)年度、目標年度を令和15(2033)年度とします。

目標値は以下のとおり設定します。



## 基本施策1 発生抑制を目的とした施策の展開

- (1) 市民や事業者に対する食品ロスに関する知識の普及啓発
  - ① 講習会・研修会等の実施
  - ② 環境教育のための啓発資材の作成・配布
  - ③ SNS等を活用した情報の発信
- (2) 家庭における食品ロス削減の推進
  - ① エコクッキングの推進
  - ② 3キリ運動の推進
  - ③ 手つかず食品の廃棄削減
- (3) 事業所における食品ロス削減の推進
  - ① 「3010(さんまるいちまる)運動」の推進
  - ② 「てまえどり」の促進
  - ③ 「ばら売り、量り売り、割引による販売」の促進

**「3キリ運動」**

**水キリ**  
捨てる前にひとしぼりしたり、チラシ等で作った紙製ゴミ袋等を活用して生ごみに含まれる水分を減らしましょう。

**使いキリ**  
使いきるだけの食材を購入したり、余ったら冷凍保存などして食材を使い切ってごみを減らしましょう。

**食ベキリ**  
食べられるだけの食事を作ったり、外食の時は「小盛り」「少なめ」を頼んで食べきってごみを減らしましょう。

## 基本施策2 循環型社会の推進に向けた施策の展開

- (1) 未利用食品の有効利用に向けた取組
- (2) 災害備蓄食・飲料水の有効活用

**「3010(さんまるいちまる)運動」**

3010運動とは、飲食店等での会食や宴会時に、「食べきりタイム」を設け、食べ残しを減らす運動です。  
**乾杯後30分間**は席を立たずに料理を楽しみましょう！  
**お開き10分前**になったら席に戻って再度料理を楽しみましょう！

## 基本施策3 推進体制の整備に向けた施策の展開

- 食品ロスに関するごみ組成調査の実施